

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 平成26年度

市町村名	富士見市					
提案事業名	地域ぐるみで防災力アップ事業					
事業期間	平成25年度 ～ 平成25年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 自主防災組織の組織率（自主防災組織がカバーする地域の世帯数÷市内全世帯数）					
	(成果検証の具体的な方法) 各事業実施後における自主防災組織の組織率の推移を検証します。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	(A) B C
	従前値 (25年4月時点)	58%	目標値 (26年4月時点)	65%	実績値 (26年4月時点)	65%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		市ホームページ等にて公表し、自主防災組織の新規結成を 促進します。				

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成25年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 思いやりと温もりある避難 所備蓄品整備事業	○	・災害対応用ガスバルクタンクのLPガスを活用できる 備蓄品一式の整備により、ライフラインの途絶時に おける避難所設置の初動体制が強化された。 ・長期にわたる避難生活を考慮し、避難所において支 援を要する高齢者や乳幼児、女性等に配慮した備蓄品 の整備により、避難所生活におけるプライバシーの確 保やストレスの軽減策を充実させた。
② 地域密着型避難所宿泊体 験訓練事業	○	・小学校区内の地域住民、町会、自主防災組織、学 校、消防、警察などの連携による合同防災訓練を実施 し、地域に密着した防災体制づくりを進めた。 ・訓練に際しては上記事業にて整備した備蓄品を実際 に活用することで、より実践に即した内容の訓練を実 施した。
③ 自主防災組織育成・支援 事業	○	・自主防災組織の新規結成に対する費用の補助や運営 面における実務的なアドバイスなどにより、新たに4 団体の自主防災組織が結成された。

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	・備蓄品の整備により避難所体制の充実が図られるとともに、備蓄 品を実際に活用する訓練の実施を通じ、避難所運営の重要さを確認 することができた。 ・自主防災組織の新規結成に対する様々な支援に取組み、新規に4 団体が結成され組織率の向上が図られた。
実施事業について 成果が不十分である点	・市内全体で見ると、自主防災組織が未結成の地域、合同防災訓練 が未実施の地域があるため、全市的に地域防災力を高めていく取組 みとしてはまだ不十分である。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	・本事業が市内全域にて取り込まれることで、地域防災力のさらなる 向上が見込めることから、自主防災組織の新規結成を促進するた め、未結成地域に対する支援に取り組みます。 ・既存組織の活動に対して引き続き支援を行い、組織間の連携によ る防災力の向上についても充実を図ります。